

## 令和2年度第1回あきる野市健康づくり推進協議会(書面開催) 報告

「健康課事業に関する質問・意見の記入票」の提出 16人

### (1) 令和元年度健康課の主な事業について

委員からの意見	事務局コメント
<p>・色々な検診、妊娠期、赤ちゃんから高齢者まで各事業を実施して頂き本当にありがたいです。</p>	
<p>・P4.7 訪問指導実施状況の表に「未熟児」とありますが、今は「低出生体重児」と言われるようになりました。</p>	<p><b>&lt;未熟児の標記&gt;</b></p> <p>・東京都への報告書と同様にしています。</p>
<p>・健康づくり係3(2) 各種検診の受診者数が極端に少ない。特に骨粗鬆症は骨折を介して要介護の原因になりやすく、その予防は重要であり、よく多くの人を受診するような啓蒙すべきである。</p>	<p><b>&lt;健(検)診受診率&gt;</b></p> <p>・受診率の向上は各事業における共通の課題です。平成28年に実施した市民アンケートでは、健診を受けていない理由として、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が最も多く、次いで「時間がとれなかったから」となっていました。(めざせ健康あきる野21 第二次ベースラインアンケート計画書P82.83参照) 健(検)診は、自覚症状がなくても定期的に受けることで疾病の早期発見・早期治療につなげることが目的であることを理解いただけるよう各事業案内で伝えています。</p> <p>・骨粗しょう症検診については、今年度コロナにより中止となっていますので、今年度受診対象の方々が来年度にも受診できるよう検討しています。(節目年齢：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳が対象)</p> <p>・昨年度は、希望する人が骨密度測定ができるよう、地域イキイキ元気づくり事業、健康のつどいにおける骨密度測定と骨粗しょう症を防ぐ健康教育を行いました。</p> <p>・今年度はコロナにより予定が変更となり、現在は健康相談事業の中で骨密度測定を行っています。今後も、コロナの感染対策を踏まえながら各事業における骨粗しょう症対策の充実を図っていきます。</p>

<p>・自殺対策推進事業までコロナの関係で女性の自殺者が多いとの事で（コロナでこの先希望を失うのも関係あるのでは）相談する場所をチラシ・ポスターで目につく所に貼る（公共施設だけではなく、スーパーなど）</p>	<p><b>&lt;自殺対策について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省は、令和2年11月27日に「本年10月の自殺者数（暫定値）が2,158人で前年同月と比して619人増加し、特に女性は386人の増加となっている」とし、各種相談の充実、給付や支援制度の情報提供等適切な支援を呼びかけています。</li> <li>市ではストレスを抱えた人が自殺に追い込まれることを防ぐために、相談事業が利用できるよう周知することが重要と考え、相談窓口のチラシを作成し、各家庭、市施設、保育園・幼稚園等で配布を行いました。今後、3月の自殺対策強化月間における周知啓発を行う際にスーパー等女性が多く利用すると思われる施設も含めた周知の実施を検討していきます。こころの相談が必要と思う方がいましたら、ぜひお声かけをお願いします。</li> </ul>
<p>・予防接種法の所で日本脳炎（特例対象者）6782名で接種者済が442名というのは？風しん第5期も接種済数が少ないのはどうしてでしょうか。</p>	<p><b>&lt;日本脳炎・風しんの予防接種&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本脳炎の予防接種の接種済者数は、2005年5月30日以降、定期接種は実施していたもの国による積極的勧奨が差し控えられたことにより、接種を受ける人が大きく減少しました。この期間の方には、特例対象者として接種できる期間をのばしているため、単年度の接種が減少したものとみています。</li> <li>風しん第5期については、対象者の多くが働く世代の男性であることから、抗体検査受検者数が少ないと考えられます。接種済数は抗体検査の結果、抗体が十分でない方のみ予防接種を受けるため少なくなっています。</li> </ul>
<p>・前年度出来た行事がコロナ禍のために延期や中止になり残念です。それでも3密を防ぎながら、出来ることからやっていることはすばらしいと思います</p>	<p><b>&lt;感染症拡大時の事業の実施&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、国・都、また、各事業の関係団体から発信される感染マニュアルを基に、健康課事業の実施の可否の決定と実施の場合の感染対策等検討し、事業毎に対策を立て進めてきました。例えば、事業の定員の見直しや予約制の導入、会場の消毒や換気等の準備、来所者の体調確認表の作成などの対策があげられます。また、コロナの終息が未だ見えない状況にありますが、延期や中止となっている事業の再開方法について、現在検討をすすめています。</li> </ul>
<p>・要望 2年度はコロナ禍で健康作りが中止、縮小になった所が多いと思いますが、今後感染症で今回と同じ事態になった時、健康づくりが出来る方法を検討しておく必要があると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これらの対応が、今後、コロナのみならず様々な感染症発生時の事業の展開に役立つものと考えています。</li> </ul>

## (2) 新型コロナウイルス感染症関連

委員からの意見	事務局コメント
<p>・毎日感染者も増加しているので皆さんが自分も含め、手洗い、うがい、マスク、3密など基本的なことを守るようにはすべきです。</p>	<p><b>&lt;コロナ感染対策&gt;</b></p> <p>・現在、新型コロナウイルス感染症が感染拡大している状況でありますので、対策方法等について、より一層の周知を行ってまいります。</p>
<p>・新型コロナウイルス感染症への対策方法、感染が疑われる場合の対処方法等に関し、積極的に啓蒙しても良いのではないかと。</p>	<p>・年末年始を迎えるにあたり、市ホームページで「健康課保健師・栄養士からのお知らせ～年末年始の過ごし方～」を掲載し、あらためて感染対策の基本事項、感染が疑われる場合の注意点、健康に過ごすためのポイント等を紹介しました。</p>
<p>・自分が38℃が2日続くと心配で東京発熱センターへ電話すると、かかりつけの医者へ連絡し、あきる野市にPCR検査して下さる所があると分かりました。原因は腎盂炎でした。（これは保健所管轄なので）難しいかもしれませんが、多くの人から聞かれます。高齢者が感染すると重症化するリスクが高いです。お互いに「感染しない！させない！」基本に3密対策に万全を期しています。</p>	<p><b>&lt;PCR検査&gt;</b></p> <p>・秋川流域共同地域外来・PCR検査センターや医療機関等への給付金の周知については、ご存じない方が多いと思うというご意見を受けまして、今後も周知に努めてまいります。</p>
<p>・秋川流域の医師会と自治体が連携し、共同事業として立ち上げた「PCR検査センター」は地域住民にとっても安心できる事業だと思われます。</p>	<p>・医療機関におけるPCR検査は、秋川流域の医師会に加入していない医療機関でも、その医療機関がPCR検査を実施していれば受けることができます。PCR検査を実施していない場合は、新型コロナ外来を行っている医療機関への紹介や、PCR検査センターへつなげる仕組みを医師会と調整して構築しています。</p>
<p>・秋川流域共同地域外来・PCR検査センターなるものがあることは知らない人が多いと思います。アピールすることが大切です。あきる野は何もやっていない。保健所まかせという人もいます。医療機関へ給付金があることを知らない人が多いです。</p>	<p>更に、秋川流域外の医療機関を受診した場合でも、その医療機関が加入する医師会でPCR検査センターへつなげる仕組みができており、どの医療機関を受診しても、必要な検査を受けることができる体制が整備されています。</p>
<p>・秋川流域の医師会に加入していない医療機関にかかっている人はPCR検査が受けられないのか？</p>	
<p>・コロナウイルス感染者あきる野市〇〇名ありがとうございます。出来れば（出来るかどうかはわかりませんが）、〇〇自治会、〇〇町内会〇〇名と記載して頂ければうれいのです。</p>	<p><b>&lt;コロナ感染者の情報提供&gt;</b></p> <p>・東京都（西多摩保健所）から、自治会、町内会別での新型コロナウイルス感染者数がかかる情報提供がないためお知らせできませんが、令和2年9月から週に1回、新型コロナウイルス感染症の患者に関する情報（年代・性別・接触歴等・療養状況）が提供されることになり市ホームページでお知らせしています。</p>

委員からの意見	事務局回答欄
<p>・私達市民大多数の新型コロナ感染防止への対応については主に新聞、TVなどのメディアからの情報に頼っています。そしてもし感染が心配になったら「かかりつけ医」、または「発熱センター」に相談してください、となっています。「かかりつけ医」、どれほどの市民が持っているでしょうか？</p> <p>働き盛りの人は日常医者にはほとんど行きませんし、風邪などは市販薬で済ませます。高齢者も基礎疾患を持っている方以外は整形外科、眼科、歯科などに行く機会が多いが、内科には風邪などで年に2～3回かかる程度で、いきなり電話で話せるような医者は心当たりがないのが普通だと思います。つまり生活習慣病などの基礎疾患があって普段から内科にかかっている一部（高齢者の3～4割くらい？）以外はコロナかなと気になっても気軽に電話出来る「かかりつけ医」は存在しないのが実情ではないでしょうか？（発熱センター、保健所の対応については経験ありませんので何とも言えません）</p> <p>そこでもし可能なら、平成28年に自分が市長への手紙で提案し、当時は不採用でしたが、「地域密着した保健師さん」：（My保健師制度）もう一度検討していただけますか？健康（病気、介護、予防、子育て、諸申請など）について気軽に電話相談できる馴染みの保健師さんがいたらほんとに心強いと思います。</p>	<p><b>&lt;かかりつけ医について、地域に密着した保健師&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かかりつけ医」については、持っているとした割合が65%という調査結果があります。（平成28年「めざせ健康あきる野21第二次ベースラインアンケート」）</li> <li>・めざせ健康あきる野21（市健増進計画）では、その割合を増やすことを目標としています。また、コロナ対策においてもかかりつけ医での相談体制について、あきる野市医師会の理解をいただいて実施していますので、引き続き市民への周知を進めていきます。</li> <li>・ご提案の「地域密着した保健師さん」：（My保健師制度）については、健康課保健師が市民の皆様身近で気軽に相談いただける存在になれるよう各保健師がその意識を持って業務に当たっています。今年度実施している市ホームページにおける「健康課保健師・栄養士から」と題した情報発信もその1つでもあります。</li> <li>・健康づくり係と母子保健係のそれぞれの地区担当保健師の配置は、業務遂行の際に求められる専門性や多様なニーズへの対応を考えてのことです。市民からのご相談内容が他係や他課の業務であるときは、職員間で十分連携を図り、最良の市民サービスが提供できるよう、今後も努めていきます。</li> </ul>
<p>・新型コロナウイルス感染症対策対応を要する中、必要と判断される保健事業においては訪問や面談を実施されることは素晴らしいと考えました。特に地域イキイキ元気づくり事業や母子保健手帳交付等面接、両親学級、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業についてです。</p> <p>予約制となった各種健診については、予約の実施影響評価について気になりました。長期的な視野で評価が必要となると考えます。</p>	<p><b>&lt;予約制の導入について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診は予約制とし、対象者に通知をしています。予約期間内で予約がされていない場合には、電話等で予約を促しています。当日、体調等が優れずキャンセル等はありませんが、ほぼ毎回定員近くの予約がされています。</li> <li>・予約制にした影響については、「保護者からの視点」で見ると、健診の各場所での待ち時間が短縮された、健診日を予め数日案内があり選択幅が広がったというメリットがある一方で、予約をする手間がかかることがあると思われます。「職員からの視点」では、健診予定者が予め把握できることで準備の時間が短縮され効率よく事業を実施できましたが、一方で健診回数が増え職員等の雇用が必要となった点があげられます。</li> </ul>

### (3) 令和2年度健康課事業について

委員からの意見	事務局コメント
<p>・健康課事業も市民のために大変役立っているので今後も続けて頂きたいです。</p>	<p>引き続き感染対策を行って事業を進めていきます。</p>
<p>・資料3のP.3の妊産婦への支援 - 手帳の交付及び個別支援の時ファミリーサポートの案内も一緒に配付できれば設営もしてあげられると良い。</p>	<p><b>&lt;ファミリーサポートセンターの案内&gt;</b></p> <p>・子ども政策課で作成している子育て支援ガイドブックを妊婦面接時等で配布しており、ファミリーサポート等の子育て支援全般についてお伝えしています。</p>
<p>・P1.後期高齢者健康診査のフレイル対策として、問診に兆候となる生活状況を加えることで、対策の強化となり、今後、成果が出ることを期待しております。</p>	<p><b>&lt;後期高齢者健診&gt;</b></p> <p>・フレイルについては、厚生労働省研究班の報告書で「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態で、適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能」としています。</p> <p>・健診時にフレイルに関する問診を記入することが受診者自身の気づきを促し、対策に取り組む意識付けになると考えます。</p> <p>・また、今年度中止となりましたが、歯科医師会と市民講座を共催し、お口の健康と食事のワンポイントを計画をしていました。このように、フレイル対策については、各種健診、健康教育、健康相談、また、地域における健康づくり活動、様々な事業を通して広めていければと考えています。</p>
<p>・がん検診申込みの時、何月と申請しても一度もなりません。ならないのだったら記入しても仕方ないとも思います。多分他の市民もそう思っていると思います。</p>	<p><b>&lt;がん検診&gt;</b></p> <p>・がん検診は、受診しやすくなるよう、申込み時に希望月をお書きいただいています。しかし、希望数が定員枠を超えた場合は、他の日程へ割り振ることになり、ご指摘のように希望通りとならないことが発生してしまいます。特に今年度は、コロナ対策で昨年度より定員枠を減らしていることから、希望とは違う日程となり、受診希望者の方にご不便をおかけしています。今後も検診の日程や会場の増加等も検討し、受診環境の改善に努めていきます。</p>

<p>・屋外でのウォーキングなど、歩いて健康づくりなどはとてもいいことです。すすめましょう。広い会場での健康相談などはいいいことです。コロナで心が病んでいる人も多いと思います。実施はいいです。</p>	<p><b>&lt;健康づくり事業&gt;</b></p> <p>・コロナ禍においては、運動不足、食生活の変化、人との関わりの減少等、これまでの生活習慣が変わり、健康に影響を及ぼすことが心配されています。健康づくりの必要性や健康相談事業の紹介等、今後も関係団体の皆様のご協力、ご理解とご支援をいただけますようお願いいたします。</p>
<p>・P2. 自殺対策推進事業では計画に基づいた結果、チラシの効果で相談予約が入っていることを知り、今後、さらなる効果が継続されることを期待しています。</p>	<p><b>&lt;自殺対策&gt;</b></p> <p>・厚生労働省は、令和2年11月27日に「本年10月の自殺者数（暫定値）が2,158人で前年同月と比して619人増加し、特に女性は386人の増加となっている」とし、各種相談の充実、給付や支援制度の情報提供等適切な支援を呼びかけています。</p> <p>・市ではストレスを抱えた人が自殺に追い込まれることを防ぐために、相談事業が利用できるよう周知することが重要と考え、相談窓口のチラシを作成し、各家庭、市施設、保育園・幼稚園等で配布を行いました。今後、3月の自殺対策強化月間における周知啓発を行う際にスーパー等女性が多く利用すると思われる施設も含めた周知の実施を検討していきます。こころの相談が必要と思う方がいましたら、ぜひお声かけをお願いします。</p>

◎その他 本協議会に関する意見や健康課への連絡事項

委員からの意見	事務局コメント
<p>・今から来春まで新型コロナウイルスの空気中での生存期間が長いと、より頻繁に感染予防を呼びかける必要があると思います。</p>	<p><b>&lt;コロナ感染対策&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今後もより一層の感染予防の呼び掛けを実施してまいります。</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種につきまして、実施が可能になりましたら、すみやかにお知らせします。</li> </ul>
<p>・コロナで何も出来ないのは残念です。・コロナで色々な行事が出来ず、特に健康課の方々大変だと思います。（市内に感染者が出ると）早くワクチンが出来るのを待っています。</p>	
<p>・特定健診、がん検診、予防接種、地域イキイキ元気づくりなど、受けたり、参加して、高齢者の方との交流ができ（今年はコロナで中止になりましたが）月1回なので高齢者の方も楽しみにしております。</p>	<p><b>&lt;健康づくり事業への協力&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業の関係者の皆様にご参加いただくことが地域ぐるみでの健康づくりの基盤整備につながっております。引き続きお声かけ、また、再開時のご支援をよろしくお願いいたします。</li> <li>・コロナにより市主催の多くの事業が中止となる中、地域において工夫しながら活動されていることに感謝いたします。</li> </ul>
<p>・今年はコロナで色々な事業が中止となりました。でも市を通さない活動は皆参加者が気をつけてやってくれたので活動することが出来ました。</p>	
<p>・健康推進委員の伊東満子さん他の方表彰されたのはすばらしいです。</p>	<p><b>&lt;健康づくり市民推進委員&gt;</b></p> <p>・健康づくり市民推進委員会は、長年にわたり市民に身近な健康づくり活動に取り組み、地域の健康づくりの裾野を広げてきたことが東京都から評価されました。現在コロナ対策のため活動の制限がありますが、コロナ禍においても身近な地域の人同士のつながり、支え合う意識を委員の方々と共有していきたいと思っております。</p>
<p>・あきる野を楽しく歩いて健康づくりコロナパンチ!大作戦!!参加してみようと思います。</p>	<p><b>&lt;～あきる野を楽しく歩いて健康づくり～コロナパンチ!大作戦!!&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナパンチ!大作戦!!の記録用紙は、チラシともに市の主な施設（市役所健康課、五日市出張所、あきる野ルピア、あきる野保健相談所、市内図書館、中央公民館、五日市ファインプラザ、いきいきセンター、市民プール）に設置しています。また、健康課にご連絡いただければ郵送しますのでお声かけください。</li> </ul>
<p>・コロナパンチ!大作戦!!の参加用紙はどのようなところで手に入れることが出来るのでしょうか。</p>	

<p>・健康課事業について幅広い年齢層にわかりやすくアピールしたほうがいいと思う。若い人は知らない人が多いようです。</p>	<p><b>&lt;事業の周知&gt;</b></p> <p>・比較的健康に関心が薄いとされる若い世代の方にも各種事業や健康に関する情報が届くよう、ホームページやメール等メディアの活用していきます。一方で、幅広い年代層に届けるためには、従来の周知である市広報や配布物、関係機関の皆様からの声かけ等による情報提供も重要です。いずれも、読み手・受取手となる市民の皆さんに届きやすい内容を考え周知に取り組んでいきます。引き続き、関係者の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。</p>
<p>・本協議会は現在活動を実質休業状態です。短期的に感染防止の観点から止むを得ないと思いますが、そろそろ中期的な観点から何らかの活動を開始してもよい時期ではないでしょうか？</p> <p>コロナ禍で外出や人との繋がり、自粛などにより、引きこもり、家庭内暴力や虐待、認知症、自殺者、さらには腰痛やひざ痛などが増えつつあるとの報告が目立つようになってきました。</p> <p>本協議会では様々な専門分野の方、市民団体の代表者などで構成された独特な組織体です。有事の今こそ地域に密着したウィズコロナ時代における「健康づくり推進」活動が求められているように思います。</p>	<p><b>&lt;健康づくり推進協議会の活動&gt;</b></p> <p>・感染拡大が続いている現在は、コロナ感染症対策の充実を図ること、また、感染対策をしながらも各健康づくり事業の実施を進めることに皆様のご協力をいただいています。</p> <p>・本協議会の委員の皆様及び所属団体のご協力のもと、「今こそ地域に密着したウィズコロナ時代における健康づくり推進活動」を推進していくことにつきましては、健康課としましてもぜひお願い申し上げます。活動について具体的なご提案がありましたら事務局にお願いいたします。</p>
<p>・今後ともよろしくお願ひ致します。</p>	